

各種報告

JR連合第2回執行委員会を開催

JR連合は7月23日、JR連合会議室において第2回執行委員会を開催し大杉委員長が出席しました。議題では、安全・組織・政策・政治等、今後の取り組みについて協議しました。

JR連合第1回労働政策委員会を開催

JR連合は8月5日、JR連合会議室において、第1回労働政策委員会を開催し、貨物鉄産労から埴岡中央執行委員が出席し、2020春闘取り組み、諸労働条件向上にむけた取り組み、JR7単組「第26回賃金実態調査」の実施について等を協議しました。

JR連合第1回男女平等参画推進委員会を開催

JR連合は8月8日、JR連合会議室において第1回男女平等参画推進委員会を開催し、貨物鉄産労からは、小山中中央執行委員が出席しました。大谷委員長、萩山会長の挨拶に続いて今井事務局長の進行で男女平等参画推進に係る情勢・JR各

労使の取り組みについて経過報告と下記の項目について協議をしました。

- ① JR連合第3次男女平等参画行動計画の達成に向けて
- ② 女性活躍推進に向けた取り組みについて
- ③ 中期労働政策ビジョン(2019～2023)について
- ④ 連合、交運労協の集会について

その後各単組からの報告・課題提起を行い、貨物鉄産労からはJRE産業の中でJR貨物は男女平等参画推進に遅れをとっている。2018年度の取り組みとして労働協約改訂・春闘の場で労使協議をしてきた大きな成果は出ていない。2019年度の取り組みとしてまずは第一歩前進となるものを求めていくと下記のとおり提起しました。

①ワーク・ライフ・バランスの推進に向けて

男性の育児休業取得促進、仕事と育児・介護の両立支援に資する諸制度の拡充・前進を図り、ワーク・ライフ・バランスの実現を目指します。また、ワーク・ライフ・バランスの実現を阻害している長時間労働の是正に向けて取り組んでいきます。

具体的には
・育児・介護休業法や次世代育成支援対策推進法促進のため

「くるみんマーク」の取得
・管理職による、子が出生したり男性社員の育児休業取得の勸奨

・男性社員の育児休業取得についての管理職向けの研修や理解の深化を図る
(参考：JR貨物2018年度男性育児休業取得率1.7%)

②女性活躍推進法「事業主行動計画」の進捗把握の取り組み
計画の進捗状況を把握し、必要な改善に努めることとします。

具体的には
・実施状況、環境整備などを点検し把握する。達成度の評価と課題の分析を行う

・女性の活躍に関する状況の情報が公表できているか点検する
・女性活躍推進法促進のため「えるぼし認定」の取得
この取り組みを展開し、女性の組織拡大を図っていきます。



③「男女平等月間」における取り組み
職場・家庭・地域における男女平等参画の重要性について、組織内の合意形成を図り、男女平等推進への機運を高めるため、2004年より男女雇用機会均等法の交付月である6月を「男女平等月間」に設定し、6月発行の貨物鉄産労中央の新聞に時々の課題をテーマにし掲載していく。

JR連合第1回安全対策委員会を開催
JR連合は8月7日、JR連合会議室において、第1回安全対策委員会を開催し、貨物鉄産労から辻村書記長が出席し、今年度の安全の取り組み・「第1回安全シンポジウム」の実施・「安定デイスカッション」の開催について等を協議しました。

各単組からの報告では、貨物鉄産労から、労災関係では、重大労災は起きていないが、労災は多発傾向にあり、熱中症労災も発生した。平成19年8月8日に起きた、東海道線島田～金谷貨物列車後退事故を受け、7月1日～7月31日を居眠り事故防止強化準備期間とし、8月1日～8月8日を強化期間として再発防止に努めている。

最近での事象では、信号現示を確認しないまま起動開始や、入換時に乗務員の意識が散漫になり車両衝突、ATS確認扱いが出来ずに非常ブレーキ動作。聴取の中で、手前の信号現示を覚えておらず、居眠りの可能性もある等、危険な事象が続

大切なクルマだから、車両損害補償はしっかりと。

衝突、火災、盗難、落書き、イタズラによる損傷...など、さまざまな損害に備えてマイカーを守るのが車両損害補償。クルマの仕様・構造による割引制度も、さらに充実。ますますパワーアップした「オールリスク」がおすすめです。



セット加入でパワフル補償

マイカー共済(自動車総合補償)/自賠責共済

みんなで暮らしをガード
交運共済
全国交通運輸産業労働者共済生活協同組合

いている。また、フォークリフト関係の事象も連続して発生しており、貨物連合として組合員に注意喚起を行っている」と報告しました。

議題の7月17日、山陽線幡生操車場構内で発生した触車事故については、最悪の事態は避けられたものの、非常に危険な事象であり、全単組を上げて再発防止に努めていかなければならないと、安全最優先の取り組みを周知しました。



東海地区本部 第34回定期大会を開催

・直面する課題、会社経営、新人事賃金制度に真正面から取り組み、誰もが納得できる組織を作りあげよう！



丸山議長

8月4日、愛知県一宮市において、貨物鉄道労働東海地区本部の第34回定期大会本部大会が、大会構成員、傍聴、そして多くのご来賓に出席を頂き開催され、今年の秋の稲沢市議会議員選挙に立候補される、「星野俊次」氏を始め、JR連合東海地協丸山議長、交運共済名古屋事業本部菅沼本部長、東海労金一宮支店杉本次長、退職者連絡会安藤さんを来賓にお招きし、順にご挨拶を頂戴しました。



菅沼本部長

定期大会は、定刻の15時より富田執行副委員長の開会の挨拶で始まり、資格審査委員長より審査結果を報告し、大会成立が宣言され、議長には山下代議員（静岡）を選出し、地区本部執行委員会を代表して榎執行委員長からは、私たちを取り巻く状況と課題等について挨拶がありました。

続いて祝電・メッセージが披露され、その後、執行部より2018年度経過報告・2018年度決算報告、会計監査報告、協約・協定の締結について、加入・脱退について、2019年度運動方針（案）・2019年度予算（案）を提起し、質疑応答後、荒井書記長の集約答弁が行われ、すべての議題が満場一致で承認されました。

また、今大会は役員改選の年でもあり、長きに渡り組合員のために奮闘してこられました、榎執行委員長をはじめ、荒井書記長、中嶋執行委員、野田会計監査員の4名が退任することになり、これまでのご活躍本当にお疲れ様でした。



榎執行委員長



奥田新執行委員長

その後、新井執行委員より大会宣言が朗読され、満場の拍手で採択し、最後に新奥田執行委員長の発声で「団結がんばろう」を三唱し、第34回定期大会本部大会は、成功裏に終了しました。

・JR連合 安全シンポジウムについて

日 時・2019年10月16日（水） 13時～
場 所・香川県高松市レクザムホール（香川県民ホール）
高松駅より徒歩8分
参加要請・貨物連合10名
※参加要請詳細については、指示書を参考願います。

・連日、猛暑が続いています。業務にあたっては熱中症対策を万全として、体調の異変を感じたら、すぐに作業を止め、休憩をとるなど安全最優先の行動をお願い致します。

・8月11日 12時40分ごろ東海道線 沼津駅構内 入換機関車と操車担当の触車事故が発生。入換作業中の入換機関車と誘導を行っていた操車担当が衝突し、TEを使用した。

操車は、すぐに救急車にて搬送。肘に擦過傷はあるものの意識ははっきりとしています。

2017年12月、千早操車場触車死亡労災があり、2019年1月には、札幌貨物（夕）で、あわや触車という危険事象が発生。先月17日には、幡生操車場構内で触車労災と、再発防止に努めている中、連続して触車事故が起きてしまいました。最悪の事態は避けられたものの非常に危険な事象であり、改めて業務においては安全最優先を心掛けてください。自分の身は自分で守らなければなりません。

・北労組物販販売のご協力ありがとうございました。改めて御礼申し上げます。

・JR連合青年・女性委員会「第28回定期大会総会」開催
日時・9月7日（土） 12時～
場所・ホテルチュールリッツヒ東方2001（広島駅から徒歩6分）

・第1回代表者会議について
日時・9月29日（日） 13時30分～
場 所・本部事務所

参加者・本部執行委員、各地区代表者1名
※12時30分より、第1回組織財政検討委員会を開催します。
本部三役・各地区代表者1名は、12時30分までに集合願います